

商工会の今後はどうなる!?

議会活性化の一環として、4月27日にあったまりランド深堀の「蔵屋敷」で、大石田町商工会役員12名と町づくりの課題などについて話し合いました。2時間という短い時間ではありましたが有意義な意見交換をおこなうことができました。その主な内容は次のとおりです。

《商工会長からの3つの意見》

▼商工会50周年記念事業への協力を
抽選会という形でプレミアム券を利用した商工業の活性化について検討する。

▼町商工業の活性化のためには町の教育が大事
町は、売れないからといって、大石田フェアをやめるといつことではなく、企業を育てるという意味から継続してやっていく必要がある。

▼待合所を利用して駅前通りの活性化をはかれないか
町の一番のメインストリートである駅前通りを活性化するため、待合所の利用や空き店舗舗利用なども考えていく必要がある。

今回の商工会役員との懇談会は、農業委員会・建設業界に次ぎ、3回目の出前懇談会になります。はじめに、議長より議会の役割と執行部との関係についての説明があり、商工会長からは、これまでの行政と商工会との関係について説明していただきました。また、『商工業の活性化・プレミアム券への協力・他の市町村での利子補助の課題・駅前通りの活性化・町内企業の育成』など、貴重なご意見・ご要望をいただきました。

その後、役員の方々からも様々なご意見が寄せられました。そのうちの一部をご紹介します。

- ・10年で千人以上の人口減少。この間、どういった政策をしてきたのか。また、食い止めるためにどうしていくのか。
- ・人口減少には死亡だけでなく、流出人口の多さも影響している。若者が定着するための施策を一番に考えないといけない。



商工会との有意義な懇談会

・婚活イベントはやったことがないが、若者が大石田町を好きになるようなことを私たちがもしたい。

・転出を防ぐためにも、流雪溝や消雪道路があり、住宅を建てられるような環境をつくってほしい。

・産業振興は税収減を食い止めるほかいろいろ役割をする。どうしても必要。

・住宅のそばに働く場があった方がよい。

・都市計画には、産業創出や産業振興なんて考えが全く念頭にないのではないか。

いずれも広範囲にわたる貴重なご意見・ご提言でありました。今回の懇談会を通じ、改めて感じた町の現状と課題をしっかりと胸に留め、今後のまちづくりのために私たちがたゆまず努力していきたいと思えます。

「議員との懇談会」

大石田町商工会会長 庄司 喜與太

わが町の商工業は景気の低迷、消費の冷え込み、人口減に伴う過疎化が急激に進むなど厳しい現実に迫られております。私は、商工業の活性化と発展は行政の協力なくしてありえないと思っております。今回、商工会役員と議員全員の皆様方との話し合いの場を企画してくださったことにより感謝申し上げます。建設的な意見や現実的な商工業の悩みなど、数

多くの意見、質問が出されました。それらのなかで、プレミアム券の発行できる予算の確保に協力が得られたことが大きな収穫でした。この企画を毎年開催してくださることを要望します。ありがとうございました。

《参加した商工会役員及び関係者》

- ・会長 庄司 喜與太 氏
- ・副会長 庄司 正彦 氏
- ・副会長 狩野 一康 氏
- ・理事 海藤 明一 氏
- ・理事 佐藤 純一 氏
- ・理事 星川 澄一 氏
- ・理事 佐々木 正美 氏
- ・理事 戸田 雅昇 氏
- ・理事 今野 雅信 氏
- ・理事 戸山 英夫 氏
- ・監事 奥山 信雄 氏
- ・商工会事務局 長 平山 信雄 氏
- ・商工会 商工 振興課 長 佐藤 光夫 氏

議員が出前懇談会に伺います!

町づくり等について 議員と話してみませんか?

町民グループや地域の要請等により、議員が直接出向き町づくりの課題などについて話し合います。また、住民の意見を議会に反映させ、議会の機能と役割について説明します。

● 利用できるのは

10人以上の町民の出席が見込める団体・グループ

● 懇談会のテーマ

町づくりに関することなど

● 開催方法及び要請方法

日時・場所についてはご相談に応じます。出前懇談会を要請する団体等の代表者は、開催日の約30日前までに議会事務局へご連絡ください。

※議会事務局 電話 35-2111 内線311